

# 令和元年度 第1回総合教育会議 会議録

日 時：令和元年8月7日(水) 13時30分～15時30分

場 所：南部小学校 ランチルーム

## <出席者>

村長	唐木 一直	
教育長	清水 閣成	
教育長職務代理者	清水 道直	
教育委員	林 百代	
教育委員	薄田 東	
(事務局)		
学校教育係長	宮澤 文敏	
学校教育係	池上 博子	
学校教育係	濱野 恵	
社会教育指導員	小池 雅司	
南部小学校長	島尻 理恵子	
管理栄養士	今泉 里菜	以上 11 名

## <傍聴人> 2名

### 1 開 会

#### <教育長>

これから令和元年度第1回総合教育会議を始めます。

### 2 あいさつ

#### (1) 村長

梅雨明けとなり、暑い日を迎えております。エアコンを入れた意味があるかと思えます。お互い健康に留意したいと思います。

本年度第1回総合教育会議です。それぞれ意見交換をしながら、大きな課題もありますが課題を共有していくことが大事と考えますので、忌憚のないご意見を願います。本日は、いくつかの協議題がありますが、南部小学校は昨年度4教室増築し、新1年生を迎えることができました。快適な状況の中で学習が進められると思えます。空調設備も、関係の皆様のご協力をいただきながら、今年の夏に間に合うことができました。

今年度の学力状況調査が全国平均よりよい結果となりました。今までに比べ、飛躍的ではないかと受け止めております。学力状況調査は、学年によって差異があるとは思いますが、南小が教頭二人となる等環境状況が整ってきたと思えます。教育行政・学校環境等いろいろな面で努力してきており、その効果とも考えております。学校は、教育の場であり、学力の向上はとても大切です。同時に「生きる力」を養っていく、様々な集団生活においていろいろな営みができるように育てたいと願

っております。これからも、教育関係の皆様にお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

## (2) 教育長

先程、中学校から連絡がありまして女子バレーボール部が全国大会に出場、と一報をいただきました。陸上の倉田さんと併せての全中です。素晴らしいです。

私が好きな書籍に『センス・オブ・ワンダー』レイチェル・カーソン著 上遠恵子訳 新潮社 があります。レイチェルは(こどもにとって)「『知る』ことは『感じる』ことの半分も重要ではないと固く信じています。」といます。子ども達にとって、知識を入れていくことを大切にするとともに、「感じること」がそれにも増して大事であり、人・自然との関係の中で、学校・家庭・地域での生活を通して、感性といたしまししょうか、感覚、感じる力を伸ばして欲しいと思います。

## 3 協議事項

### <村長>

議事に入ります。

### (1) 通学路安全推進協議・安プロ (会議資料1)

#### <村長>

通学路安全推進協議・安プロについてお願いします。

#### <学校教育係 池上>

\*会議資料に基づき説明

- ・交通安全プログラム活動進捗状況
- ・村内通学路危険箇所
- ・グリーンベルト
- ・安全見守りボランティアとの連携

※庁内関係課で打合せを行い、具体的な進め方を確認。

今後、通学路安全プログラム推進協議会に回り、各課等の動きを検討していく。

#### <村長>

通学路の安全確保は重要な問題。できるところからやっていくことが大事。信号機の設置とかいろいろな要望があるが、信号機の設置は難しさがある。上伊那管内で大体1年間で大体2箇所位が通常。グリーンベルト・カーブミラー、路面表示などできるところをやっていく必要がある。教育委員会として担当課と打合せして進めていくようお願いします。

#### <教育長>

スクールゾーンを国でも進めているが。

#### <学校教育係 池上>

現状確認・見直しと追加等について検討していく必要がある。規制できるか否か、注意喚起を促すものか。役場の東側等生活道路であり、規制というものではない。

#### <教育長>

南部小のエリア等「ゾーン30」となっている。その効果と南 小学区でゾーン規制ができないものか。

<学校教育係 池上>

確認しておきたい。

<教育委員>

「ゾーン30」といっても、皆それ以上のスピードを出している。周知の難しさがあるか。

<村長>

「ゾーン30」については、住民理解が得られるかが大事。 南部小エリアでは時間を要した。

<教育長>

「ゾーン30」も含め検討していくということによいでしょうか。

<村長>

了解です。先程も申しましたが、道路改良とかいろいろあるのだけど、時間がかかる課題ばかりなので、その前に道路標示等、村としてできることを直ぐやっていったほうが良い。来年度当初の予算に盛り込んでいくことが大事。それぞれの課と打合せをして進めてください。

## (2) アレルギーガイドラインについて

<村長>

アレルギーガイドラインについてお願いします。

<学校教育係 池上>

・現状

栄養教諭・栄養士の異動があり、今年度今までの状況、積み上げてきた内容を確認し、策定に向けて動いている。8月の会議から、養護教諭の参加を予定している。

・今後の予定

12月までに整備。その後周知期間を置き、令和2年の施行を予定。

<村長>

来年4月からマニュアルを基に対応できるようにお願いします。

## (3) ICT環境整備等について (会議資料2)

<村長>

続きまして、ICT環境整備等についてお願いします。

<学校教育係 濱野>

\*会議資料に基づき説明

※昨年度総合教育会議で確認された整備計画に基き進めている。(整備方針)

・平成31年度・令和元年度の整備状況

<村長>

説明を受け、着々と進んでいると受け止めています。今年と来年で整うことでよ

ろしいですね。

<教育長>

校務用コンピュータ整備（シンクライアント端末）の導入に関しては、セキュリティに係わり研修等を通し、教職員の意識を高めていく必要がある。指導者用コンピュータ整備では、県の共同調達により若干安くなっている。

<村長>

共同調達は、自治振興組合でやっているんですね。

<教育長>

しっかり活用することを含め、環境整備を進めたい。

<教育長職務代理者>

ソフト面で研修会等を行っていくことが大切。

<学校教育係 濱野>

小中3校全体をフリーな立場で支援可能なICT支援員が必要。

<村長>

使いこなせなければどうにもならない。

<教育長>

現在、支援員を配置しているが、各校のICT機器を活用した授業づくりをフリーにサポートできるまでには至らない状況。

<教育委員>

同学年で、隣のクラスとの授業展開等、ICTを活用した授業づくりを先生方が互いに学びあう姿勢、できる先生からの広がりを大事にしたい。

<村長>

人がいれば現状に小学校2校に1名、人を確保し、活用していくことが大事。支援員を置かないと前に進んでいかない可能性がある、ということですね。

<教育長>

デジタル教科書については、予算上の都合があるが、可能な中で整えていきたい。

#### (4) 子どもを真ん中にした地域コミュニティづくり（会議資料3）

<村長>

子どもを真ん中にした地域コミュニティづくりに議題とします。

<社会教育指導員>

\*会議資料に基づき説明

- ・「地域ぐるみでこどもを育てる」地域づくり
- ・共育月間 ・共育月間の日 ・あいさつ声かけ運動
- ・こどもの育ちを考えるフォーラム（8月17日）について

<村長>

息の長い取り組みになる。

<南部小学校長>

「皆で考えていくこと。一緒に考えていきましょう」のスタンス・過程が大事。

「やってください」で動いていくことではない。

<村長>

教育委員会を含め、村としての動き。社会教育指導員の力をいただいている。ことを動かすには、人の力が必要。9月議会には定数増をお願いしていきたいと考えている。1歩でも2歩でも前に進むようにお願いします。素晴らしいことだと思う。

(5) 空調設備関係について

<村長>

空調設備関係をお願いします。

<学校教育係長>

- ・小中学校への空調設備の設置完了。南部小（31 部屋）6月中旬、南小（43 部屋）・南中（32 部屋）7月初めから使用できる状況。
- ・竣工書類の整備のため工期は8月23日まで。竣工検査ができるよう進めていく。補助金等の説明。
- ・教室への設置は終了したが、あと体育館が残っているので今後検討を進めていく。

<村長>

保育園・小中学校合わせて3億5千万ほどの予算。これからは、使い方を整えていただきたい。子ども達・私達大人の体調が一番大切。

体育館という話がありましたが、いずれはそうなるのかな・・・と。学校の体育館は避難所としての補助金が出ないので弱ったなど。来年は避難所となっている村民体育館をやろうかな、と思っている。あと各区の公民館も考えているが、財源との絡みで悩んでいる。

(5) 南部小学校給食室・給食センターについて（会議資料4）

<村長>

それでは、南部小学校給食室・給食センターについてお願いします。

<学校教育係長>

\*会議資料に基づき説明

- ・県住宅供給公社のサポートを受け立案
- ・南部小学校の検討案（3案）

※C案：近い将来想定されるのが、340食。今の施設を活用すれば、350食まで何とか作れるのではないかと、という考えです。唯、設備等の入れ替えが必要となる。冷蔵庫他入れ替えをすれば350食まで何とか可能ではないかと考えます。

<村長>

C案は現状で設備を入れ替えれば350食位までいけるといことか。

<学校教育係長>

できるのではないかとということで、検討しているところです。

<村長>

それはありがたい。

<教育長>

400食という数もあるわけで、そこをどう読むか。今の施設が250食の施設設備であり、このままでは350食は難しいが、係長の話は、冷蔵庫・配膳など工夫すれば350食までは、当面いけるのではないか、という考えです。

<管理栄養士>

調理する分には問題ない。牛乳の搬入や配膳等工夫すれば何とかなる。

<村長>

そういう物を配置を換えたり、入れ替えたりすれば何とかなるのか。

<学校教育係長>

そうですね。ランチルームの方に冷蔵庫とか増やさなければならぬものが出てくるかな、と思う。

<村長>

それは増やせばよい。

<学校教育係長>

あと、調理員さんの牛乳を入れ替えたりする等の手間も少しかかる状況が予想されるが、それは何とかあります。

<教育長>

今話されている具体のところ非常に悩ましい。増改築の方向で来ているので、400食をどう見るかというところ。

<村長>

当面、350食。

<学校教育係長>

今分かっているだけで教職員含めてマックス340食であり、400食になるということは、児童が相当増えなければならない。

<村長>

だいぶ先にいくだらうね。昨年度、出生数が少なくなっている。今年は戻ってきている。C案を真剣に検討してください。

<教育長>

今迄増改築の方向を描いてきていますが。

<村長>

それは別にいい。検討したところ当面はC案でいけるなら。

<教育長>

B案と特にC案の具体のところを見ていく必要がある。

<学校教育係長>

C案は特に未だ。それ程設備もいらぬのではないかと考えている。

<教育長>

県の住宅供給公社に併せて考えてもらって。いずれにしろ、給食センターも何とかしなければならぬ。

<教育長>

「待ったなし」の状況です。

<村長>

給食センターも一杯だ、ということできているが食数は横ばい、若干の減。南部小を何とかしてから、給食センターということか。

<教育長>

昨年度の総合教育会議では給食センターについての方向が協議されましたが、南部所の児童数の増加が急であり、先ず南部小、そして給食センターのことを、と考えている。

<村長>

学校教育係長、C案の検討を住宅供給公社と一緒に進めてください。給食センターのこともあるので、あまり予算をかけたくない。

<学校教育係長>

当面 350 食ということで。

<村長>

(増えたとしても) 後 10 年くらいはもつ。

<教育長>

いずれにしろランチルームが今まで以上に使えなくなるが。

<南部小学校長>

今も、ここは全校が使ってはいない。

<村長>

3 年生まで使えれば。

<教育委員>

日野市の視察の時に、一部屋「ランチルーム」として。食育や食事マナー等で活用する状況を観てきた。マイナスに考えないで良いと思う。

給食センターの釜とかの設備は古いが、南部小の設備はどうですか。

<管理栄養士>

ガスフライヤーは古いので買い換えを検討。その他は当面大丈夫です。

<村長>

給食センターは古いので。ボイラーは入れ替えましたか。

<学校教育係長>

今工事行っています。

<村長>

B案・C案で住宅供給公社と相談しながら進めてください。C案でいくから公社はいい、という訳にはいかない。給食センターのこともある。

<教育長>

検討を進め、都度、村長・副村長と相談していきます。

<村長>

重要なことなので共有していかなければならない。

<教育長>

アレルギー食に関してもしっかり検討していきたい。

管理栄養士さん、350食を想定しながら協議しているが、給食センターは1200食のところを1400食作っている。南部小で例えばC案として考えたときに400食対応はどうか

<管理栄養士>

可能です。

<村長>

増築しなくても？それについてもしっかり打合せをしてください。

<教育長>

村の大事な学校。事務局を含め南小の栄養教諭とも相談し、知恵を出し合いたい。

<村長>

B案の2・4・5番目の●を削除してください。課題ではない。1番は、給食の業者対応ができるかどうか。家庭からの弁当対応は難しさがある。

<教育長>

C案は、給食を止める必要がないことも考えられるか。

<学校教育係長>

あります。

(6) その他

<村長>

その他で何かありますか。

<教育長・教育委員・事務局>

特になし。

<村長>

教育はとても大事。ハード面とともにソフト面が大事と考え人件費等予算もつけている

以上で協議を終了いたします。

<教育長>

以上で令和元年度第1回総合教育会議を閉じます。

以上